有限会社マルヨシ

八幡浜市
一般建築材・木材加工
熱処理木材・不燃加工材等
販売

有限会社 マルヨシ

JAS 認定工場

特徴

小規模ながらもお客様にご満足いただける製品作りを目指しています。愛媛県下の山々から産出される木材が皆様の笑顔につながるように、尽力して参ります。

代表取締役 **井上 剛**

自社工場

自社工場内部

小角類

多様な製品供給

弊社は、九州と四国を結ぶ航路を持つ港街、四国の西の玄関と言われます愛媛県八幡浜市に所在し、主として小径木を中心に一般建築用材を製材しています。近年では、不燃・準不燃木材や、熱処理木材などエンジニアリングウッドの取り扱いも増加しています。「木の香りと優しさを届けたい」を目標とし、社員一丸となってお客様の満足のために社業に邁進しています。

【主力製品・生産能力】
主力製品:小角類 250㎥/月
生産能力:生産量 400㎥/月　乾燥能力 100㎥/月
主要設備:ツイン丸鋸盤、WEINIGモルダー、一面プレナー、
ライマンギャング、オプティカット、高温乾燥機 2基

□認定
構造用製材 JLIRA-B・57・15(H24.12.25)
SGEC　CoC管理事業体 JAFTA-W194 (H29.2.1)

DATA

会社設立／昭和23年
(平成8年改組により法人化)
従業員数／8名
資本金／300万円
〒796-8035
愛媛県八幡浜市若山2番耕地15番地
[TEL]**0894-24-6991**
[FAX]**0894-24-6995**
[E-mail]
tsuyoshi-inoue@maruyoshi.net
[ホームページ]
http://maruyoshi.net/
http://www.facebook.com/maruyoshi.yawatahama.ehime

有限会社 マルヨシ

JAS 認定工場

特徴

小規模ながらもお客様にご満足いただける製品作りを目指しています。愛媛県下の山々から産出される木材が皆様の笑顔につながるように、尽力して参ります。

自社工場

代表取締役 井上 剛

弊社は、九州と四国を結ぶ航路を持つ港街、四国の西の玄関と言われます愛媛県八幡浜市に所在し、主として小径木を中心に一般建築用材を製材しています。近年では、不燃・準不燃木材や、熱処理木材などエンジニアリングウッドの取り扱いも増加しています。「木の香りと優しさを届けたい」を目標とし、社員一丸となってお客様の満足のために社業に邁進しています。

八幡浜市消防団
副団長
愛媛県木材協会
八西支部　支部長
八西地区林材業振興
会議　副会長
八幡浜市立双岩小学校
平成３０年度ＰＴＡ
会長予定者

□認定

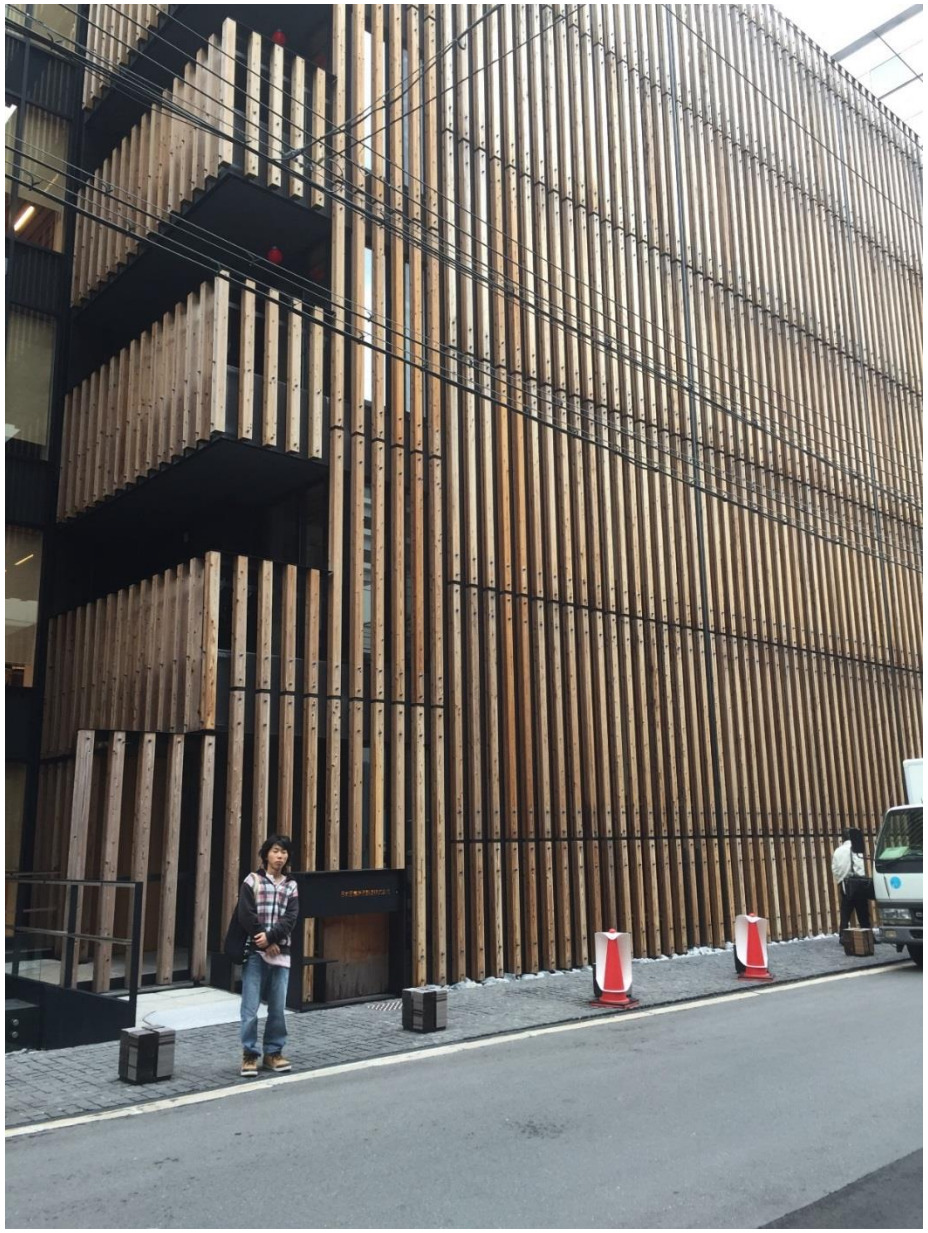
構造用製材 JLIRA-B・57・15(H24.12.25)
SGEC　CoC管理事業体 JAFTA-W194 (H29.2.1)

DATA

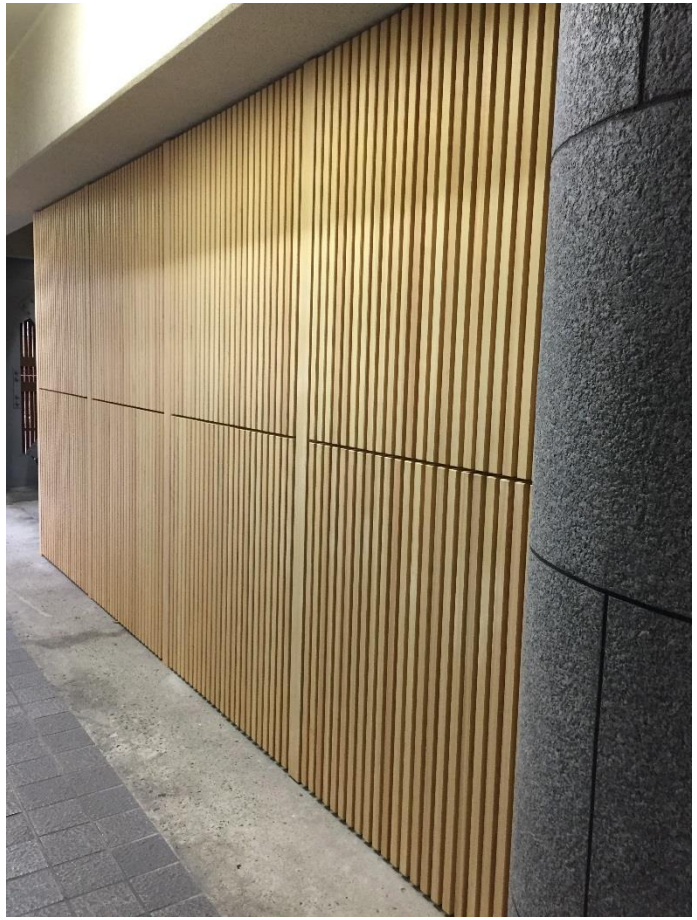
会社設立／昭和23年
(平成8年改組により法人化)
従業員数／8名
資本金／300万円

〒796-8035
愛媛県八幡浜市若山2番耕地15番地
[TEL]**0894-24-6991**
[FAX]**0894-24-6995**
[E-mail]
tsuyoshi-inoue@maruyoshi.net
[ホームページ]
http://maruyoshi.net/
http://www.facebook.com/maruyoshi.yawatahama.ehime

愛媛県産材 第3回 マッチング商談会
愛媛ブランド材
愛媛すぎ
愛媛ひのき
愛媛県



愛媛県内の物件



林材業の現況

- 問題点

  川上・山主

  木材価格が安い

  林業従事者がいない

  間伐が遅れている

  あきらめている

  様々な面で放置している

- 問題点

  川中・製材所

  木材価格が安定しない

  木材供給が不透明

  製品単価と合わない

  需要のない時期にでる

  Ａ材が少ない

私達を取り巻く森林環境

- 先人が真面目に植林
- たくさん生えている
- あるとは言われてはいる
- 日本は森林大国
- 伐期が来ている
- 国産材の時代だ
- 機械化が進んできた
- ＣＬＴ　など

- でも
  いったいどれだけあるのか
  だれも　わからない
  総ボリュームとして
  ヒノキ約２０万m3
  スギ　約３０万m3
  愛媛県内（現状）
  　約５００，０００m3
  　６０万立方を目指す

有限会社 マルヨシ

JAS 認定工場

特徴

小規模ながらもお客様にご満足いただける製品作りを目指しています。愛媛県下の山々から産出される木材が皆様の笑顔につながるように、尽力して参ります。

代表取締役 **井上 剛**

自社工場

自社工場内部

小角類

多様な製品供給

弊社は、九州と四国を結ぶ航路を持つ港街、四国の西の玄関と言われます愛媛県八幡浜市に所在し、主として小径木を中心に一般建築用材を製材しています。近年では、不燃・準不燃木材や、熱処理木材などエンジニアリングウッドの取り扱いも増加しています。「木の香りと優しさを届けたい」を目標とし、社員一丸となってお客様の満足のために社業に邁進しています。

【主力製品・生産能力】
主力製品:小角類 250㎥/月
生産能力:生産量 400㎥/月　乾燥能力 100㎥/月
主要設備:ツイン丸鋸盤、WEINIGモルダー、一面プレナー、
ライマンギャング、オプティカット、高温乾燥機 2基

□認定
構造用製材 JLIRA-B・57・15(H24.12.25)
SGEC　CoC管理事業体 JAFTA-W194 (H29.2.1)

DATA

会社設立／昭和23年
(平成8年改組により法人化)
従業員数／8名
資本金／300万円
〒796-8035
愛媛県八幡浜市若山2番耕地15番地
[TEL]**0894-24-6991**
[FAX]**0894-24-6995**
[E-mail]
tsuyoshi-inoue@maruyoshi.net
[ホームページ]
http://maruyoshi.net/
http://www.facebook.com/maruyoshi.yawatahama.ehime

愛媛県内における林材業の数字

愛媛県南予エリアの特徴として

- 人口が少ない
- 森林率が高い
- 山主さんも多くいるものの不在の方も増加中
- 国産材の製材所が集積している
- 木材関係である林材業に携わられている人が多い
- 建築に係るお仕事につかれている方も多い
- 林材業が地域の主要な産業として位置づけられている
- 手入れせねばならない山も増加中

山林風景

でも　林材業は産業振興の受け皿

- 林材業の活性化は地域経済の活性化に直結する
- 地域の存続は経済の再興が「きも」である
- 人口増加のためには「仕事」の存在が大切
- 地域の疲弊は人口減少により加速度的に進む
- 地域の木材の有効利用を考えたとき業界内だけでは難しい
- エンドユーザーの理解も必要
- 啓蒙活動は関係者一丸となって進める必要あり
- 洗練されたデザインや訴求できるコストパフォーマンスも

そこで

- 木材利用についての可能性を模索するために
- どんな建物が多く建っているかを分析
- 今回の実験に結びつく

地域の再興は産業振興にかかっている

- とにかく産業振興
- 地域の建築士さんの元で
- 地域の工務店さんがしっかり仕事ができ
- 地域の木材がチープではなく　リーズナブルな価格で
- しかも行政の応援（各種補助）が真の応援となるよう精査
- 経済活動が地域で回るように

建築士さんの知見と技術とのコラボ

- 今回の実験等による
- 建築士さんの知見の積み上げ
- 洗練されたデザインと木組みへの発展
- 木材供給の安定化へ
- 機械等級区分ＪＡＳや人工乾燥材の充実
- 木材協会の横のつながりでプレカットなどの高効率な加工
- 木構造ならではの拡張性と維持管理の容易さを主張
- 地域経済に少しでもプラス効果をもたらす

結果

- 基幹産業としての林材業の再興
- 建築士さん工務店さんの隆盛につなげる
- 木造建築が身近な存在になる
- 農業との兼業も含め就業人口増加
- 子育て世代への安心感
- 木材の利活用増加による温かみのある風景構築
- 持続可能性な地域社会の再構築
- 金融機関が山に目を向け始め資産としての山に
- 山林管理の取り組みのきっかけ作り

これまでの木材利用

- 住宅建築現場
- 梱包資材としての利用
- 枕木等の利用
- 世界的に見れば燃料利用が最大の利用から
- 考え方のシフト

ALUCAR
CLUB
SHOP

BUILT TO PERFO
ALUCAR
HIAB
Holsten

県当初予算案

AI導入で原木増産

収益予測モデル1410万円

IoT活用 産学官連携

8月コンソーシアム構築

428万円

「スゴ技」とロボット企業

マッチングで販路開拓

605万円

ＩＣＴ技術の導入事例

情報

御清聴　ありがとうございました

(有)マルヨシ
井上　剛